

令和3年度の元気なふるさとづくりミーティングの進め方について

元気なふるさとづくりミーティングの変更の考え方について

R3北海道集落实態調査（速報）

○地域では、担い手対策・移住定住など人づくりや人的交流などに着目した施策を重視の傾向

集落対策のこれまでの取組を通じて

○アドバイスと共に「横展開」の手がかりを引き出すことが重要
○研究会・ミーティングの内容を道内関係者への幅広い発信を検討

令和3度 元気なふるさとづくりミーティング「まちづくりアイデアソン」

■取組の概要

集落対策・地域づくりの担い手として期待される、市町村職員や振興局職員、地域企業社員、地域おこし協力隊などの若い方々による地域課題の解決に向けたアイデアソン形式のミーティングを実施。地域を支える人材づくり・地域づくりの担い手育成をサポートする。

■実施する地域候補

令和3年度は、次の振興局のうちから2カ所でモデル実施。
石狩・日高・檜山・宗谷・根室

■参加数及び参加者イメージ

市町村職員、振興局職員、地域企業（金融機関・農協など）、地域おこし協力隊員、集落支援員、などの若手職員 12名程度想定（2グループでアイデアソン）

■実施イメージ

令和3年10月下旬～11月 2回開催（各1日間の予定）

- 振興局を通じ実施希望・テーマを募集
- テーマ（地域課題）の解決に向けてグループワーク実施
- アイデアソンの意見集約・進行をアドバイザーがサポート
- 研究会委員には、地域づくり講義・講評の依頼を予定。

AM

○地域づくりの先進事例や地域課題のインプット（2～3名）
・委員の地域づくり講義
・地域課題の情報提供

○アドバイザーによる議論の進め方アドバイス

PM

○アイデアソン
6名ずつ2グループによるグループワーク

○アイデア発表会
○委員からの講評アドバイス

フォローアップや取組PRについて

- アイデアソンの様子をYouTubeで全道に広く発信（アーカイブ映像）
- アイデアの施策化に向けて市町村や地域づくり関係者への情報提供
- 振興局長・市町村長にも出席を依頼し取組をPR
- ふるさとづくり研究会委員で継続的にサポートする仕組みづくり